

「よい子 強い子 伊丹の子」

伊丹っ子



学校通信No. 9

令和5年5月29日
伊丹市立伊丹小学校
校長 磯田 かおり



スズムシ博士による目覚めの式！ 5/18

昨年リーンリーンとすてきな鳴き声を響かせてくれていたスズムシの卵は飼育ケースの中で冬越ししました。暖かくなったので、卵が孵化するように、いつもお世話になっているスズムシ博士の山村さんが、プレイタイムに目覚めの式をしに来てくださいました。全校放送で案内するとたくさんのお子どもたちが集まって来ました。

卵が産みつけられた水苔にたっぷりたっぷり水をかけて、スズムシの孵化や成長について子どもたちに話してくださいました。去年はこの目覚めの儀式から10日でスズムシの幼虫がうじゃうじゃ出てきましたが、今年はどうでしょうか？

時間があればぜひ、楽しみにケースの中を見に来て、目を凝らしてみてくださいね。

卵を産んだ後、親のスズムシは死んでしまいます。スズムシの赤ちゃんが出てきても、スズムシのお父さんやお母さんはいないとは・・・

びっくりしたようにスズムシ博士に質問に来た低学年のお子どももいました。自然界の厳しさと命をつないでいく大切さに気づく機会になりました。



“2年生が大歓声！” 4年ぶりのヤゴとり



5/26に6月20日のプール開きに向けて水を抜いたプールで、2年生が網やケースをもって、ヤゴの救出に取り組みました。プールの底の泥の中に果敢に網を突っ込む子どもたち。苦手だけどケースに入ったヤゴをそっとのぞき込む子どもたち。それぞれに生き物に親しむよい機会となりました。救出したヤゴがトンボに羽化する日を楽しみに、大切に観察してほしいと思います。

もうすぐ運動会 コロナ禍での工夫を生かして新たな形を模索

6月3日(土)は運動会開催予定です。しかし、直前の1週間は天候が心配な予報です。グラウンドを使った練習が十分にできず満点の仕上がりにはならないかもしれませんが、子どもたちとともに精一杯の練習をして、満点の気持ちで臨むことができると考えています。困難なことにも負けず前向きに取り組む伊丹っ子のがんばりを応援していただきますようお願いいたします。

◆◆体操服で登校◆◆

児童数が多い本校では、全校生が移動したり集合したりすることにも時間がかかるため、8:40 開会式開始としていますが、体操服に着替えて集合に間に合わせる事が低学年は特に難しいため、運動会当日だけは体操服を着用し、体操服の名札が見えないよう上着等を着用して登校するようにご協力ください。なお、汗をかくので、終了後は着替えて下校します。

◆◆新しい運動会開催方法を試行。ご協力をお願いします！◆◆

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、今年度からよりよい方法を模索して少しずつ開催方法を変えていきます。初めての試行のため、うまくいかないこともあるかもしれませんが、どうかよい運動会になるようご協力をお願いいたします。